








将来の人口目標（ビジョン）の実現を目指し、4つの視点「住んで良かったと思えるまちづくり」を掲げ、7つの分野に重点的に取り組みます。

4つの視点「住んで良かったと思えるまちづくり」

1) 若者・子どもが住む未来へつなげる持続可能なまち	まちを維持していくために、一人でも多くの若者が住み、子どもが誕生し、地域で子どもを育て、地域を愛し支えていく人材を育成するサイクルを持続するよう取り組みます。
2) 住民が生きがいをもって自ら考え実行する住民主導のまち	住民がそれぞれの役割と責任を分担し、住民同士で手を取り合いながら、それぞれが生きがいをもって考え、決定し実行していく住民主導のまちづくりを進めるとともに、行政がそれをしっかりと支えていきます。
3) 地域資源を活用した賑わいのあるまち	町の各所にある地域資源を地域の知恵や創意工夫で産業振興、町の活性化に有意義に活用し、心豊かに暮らすことで人を呼び寄せる、賑わいのあるまちづくりに取り組みます。
4) みんなの笑顔が光る安心安全なまち	子どもから高齢者まで笑顔で安心して暮らすことができるために、住民の生命・財産を守る災害に強いまちづくりや、健康で過ごすことができる福祉のまちづくりに取り組みます。

7分野の基本的方向

7分野の基本的方向		SDGs
① 集落機能の維持・移住・定住	新しい人の流れを作りながら、若い世代が住み続けることができる環境を整える。 ▼地域活動支援交付金を活用した集落活性化の取り組み支援、移住・定住コーディネーター配置、ふるさと住民票など	
② 子育て・幼児教育	町内で安心して子どもを産み、育てる環境を整えるとともに、子どもたちの生きる力の基礎を培う。 ▼保育料の軽減、ファミリーサポートセンター事業など	
③ 学校教育・社会教育	「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進することで、地域を支える人財を育成する。 ▼義務教育学校等の設置、英語教育推進事業、日野町教育ICT活用事業など	
④ 産業・雇用	活力と魅力あふれる産業を創り、安定した雇用を創出する。 ▼意欲と能力のある認定農業者等の経営規模拡大への支援、町内での新たな起業、新分野進出による事業拡大等への支援など	
⑤ まちづくり	誰もが心豊かで潤いのある生活や生きいきと輝き活力ある社会を実現する。 ▼文化センターを拠点とした文化芸術活動の実施、公民館活動の充実、男女共同参画推進会議ひのの取り組み支援など	
⑥ 保健・医療・福祉	町民の健康で安心・安全な暮らしを守る。 ▼鳥取大学との連携による地域包括ケアシステム構築、介護福祉士就学資金等貸付事業など	
⑦ 防災・減災	町民が将来にわたって安全に安心して暮らせる。 ▼支え愛マップ作成支援員派遣、防災士養成研修受講支援など	

※日野町の人口推計表とグラフ

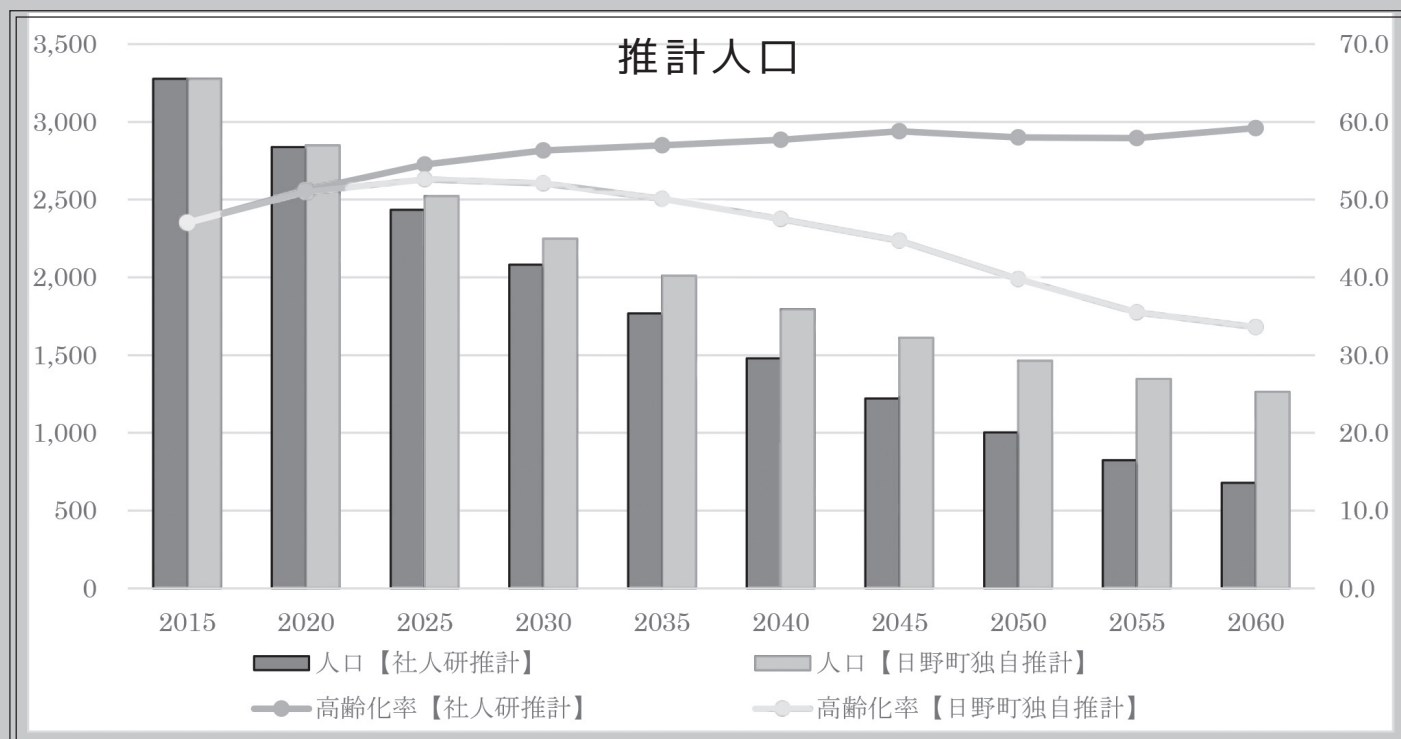
【社人研推計】

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口(人)	2,837	2,434	2,082	1,766	1,481	1,225	1,004	825	679

【日野町独自推計】

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口(人)	2,849	2,522	2,249	2,011	1,795	1,612	1,463	1,348	1,263

① 2040年以降「合計特殊出生率 2.07」をキープ ②「毎年3組の4人家族(夫婦と子ども2人)の移住



7分野での数値目標

集落機能の維持・移住

町外からの子育て世帯の移住者数：
5年間で60人

子育て 幼児教育

令和6年度の町内小学校入学者数
15人以上

学校教育 社会教育

地域や社会をよくするために、自分なりの考えを持っている
中学校3年生：
令和7年度80%以上

産業・雇用

町内総生産令和6年度110億円、
雇用創出数5年間累計延べ30人

まちづくり

文化センター、公民館の利用者数：
平成30年度の50%増

保健・医療・福祉

令和6年度転出者数に占める65歳以上の割合：
10%以下

防災・減災

自然災害による死傷者の発生0人

